

ユーザーと権限

eコミサイトを活用するにはユーザー登録が必要です。ただし、サイトの中に多数のグループがあるため、「ユーザーをグループに参加させる」ことがほとんどです。「ユーザー登録」と「グループ参加」の違いを以下で説明します。

ユーザーとメンバー

- ・ サイトのユーザー登録をしているユーザーを「ユーザー」と呼びます。
- ・ 更にあるグループに参加すると「〇〇グループ」の「メンバー」となります。

eコミでは「ユーザー登録」を行い、更に「グループに参加」すると、以下3つの状態をもつことになります。

- ① サイトの「ユーザー」
- ② 〇〇グループの「メンバー」
- ③ 〇〇グループが属する「サブサイトメンバー」

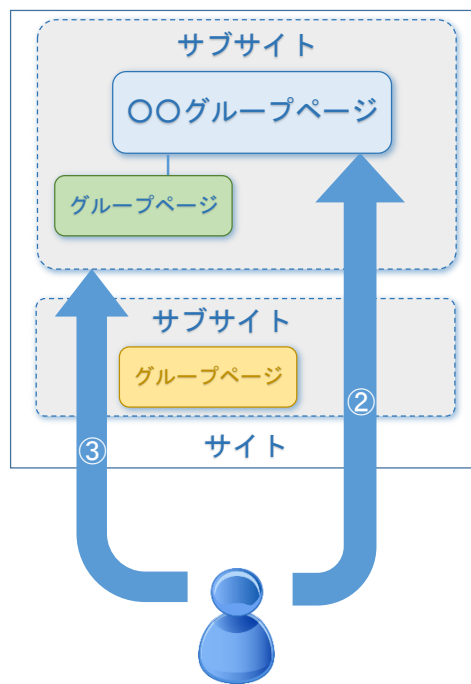


図-2

- ※ ①の状態はID・パスワードが発行されログイン可能です。
- ※ グループに参加すると②③の状態になります。

サイト権限

サイト全体に関わる権限をサイト権限と言います。「ユーザー」に割り当てられる権限ですが、サイトを管理するユーザー以外ではあまり意識しなくて良い権限です。eコミ利用においては、後述するグループ権限が重要となります。

サイト権限には以下の4つの権限があります。

システム管理者

サイト内に関わる操作はすべて可能です。

サイト管理者

システム管理者とほぼ同等の権限ですが、「システム管理者を指定できない」「ユーザー一覧のCSVテキストで出力」「グループ一覧のCSV出力」「eコミマップ初期設定」の機能を利用できません。

ユーザー（登録ユーザー）

eコミにユーザー登録を行っているユーザーです（ID・パスワードを持っておりログインができます）。

非ユーザー

eコミにユーザー登録を行っていないユーザーです。

※ eコミのユーザーの場合もログインしていない状態では非ユーザーとなります。

閲覧範囲

広い

狭い

グループ権限

各グループに関わる権限となり、とあるグループにおける「メンバー」に与えられた権限のことです。グループに「参加している/参加していない」の区別はもちろん、そのグループの中で「管理者なのか？編集者なのか？それ以外の一般利用者なのか？」を指定するための権限となります。

グループ権限には以下の5つの権限があります。

前項のとおりグループ権限とサイト権限はまったく別の権限です。グループ権限は、公開範囲に影響しますので重要です。

※ グループは複数あるので、それぞれのグループ毎に「グループ権限」は設定します。そのため同じユーザーであっても「グループAでは管理者、グループBでは一般利用者、グループCでは未参加」といった設定が可能です。

閲覧範囲

グループ管理者

グループを管理するユーザーです。

グループ内なら全ての設定・投稿・編集・削除が可能

グループ副管理者

グループ管理者とほぼ同等だが、グループ管理者をグループ管理者より下位のレベルに引き下げることはできず、また自分を管理者にあげることもできません。

【非推奨権限です】

グループ編集者

グループ内で記事の投稿が可能なユーザーです。

グループの管理はできないが、情報発信を行う一部の機能を利用できる権限です。情報発信以外は、一般利用者と同じ権限となります。

※ 編集者が投稿/編集可能なパーツは、ブログパーツ/イベントカレンダーパーツ/ブロックHTMLパーツになります。

一般利用者

グループに参加のみしているユーザーです。

主に管理側が発信する情報を受けたり、発信情報に対して返信したりすることができる（ブログコメント、掲示板への返信）権限です。また、グループメンバーのみに公開された情報などが閲覧できます。

未参加

グループに参加していないユーザーです。

グループがメンバー以外に閲覧やコメントを許可している場合、グループの情報に接することが出来ます。

広い

狭い

公開範囲

公開範囲とは、ページで発信する情報に設定する表示制限のことです。

グループ・ページ・パーツ・記事に設定でき、情報を受ける側のユーザーが持っているサイト権限・グループ権限などにより、「誰に見せる・見せない」の設定が可能になります。

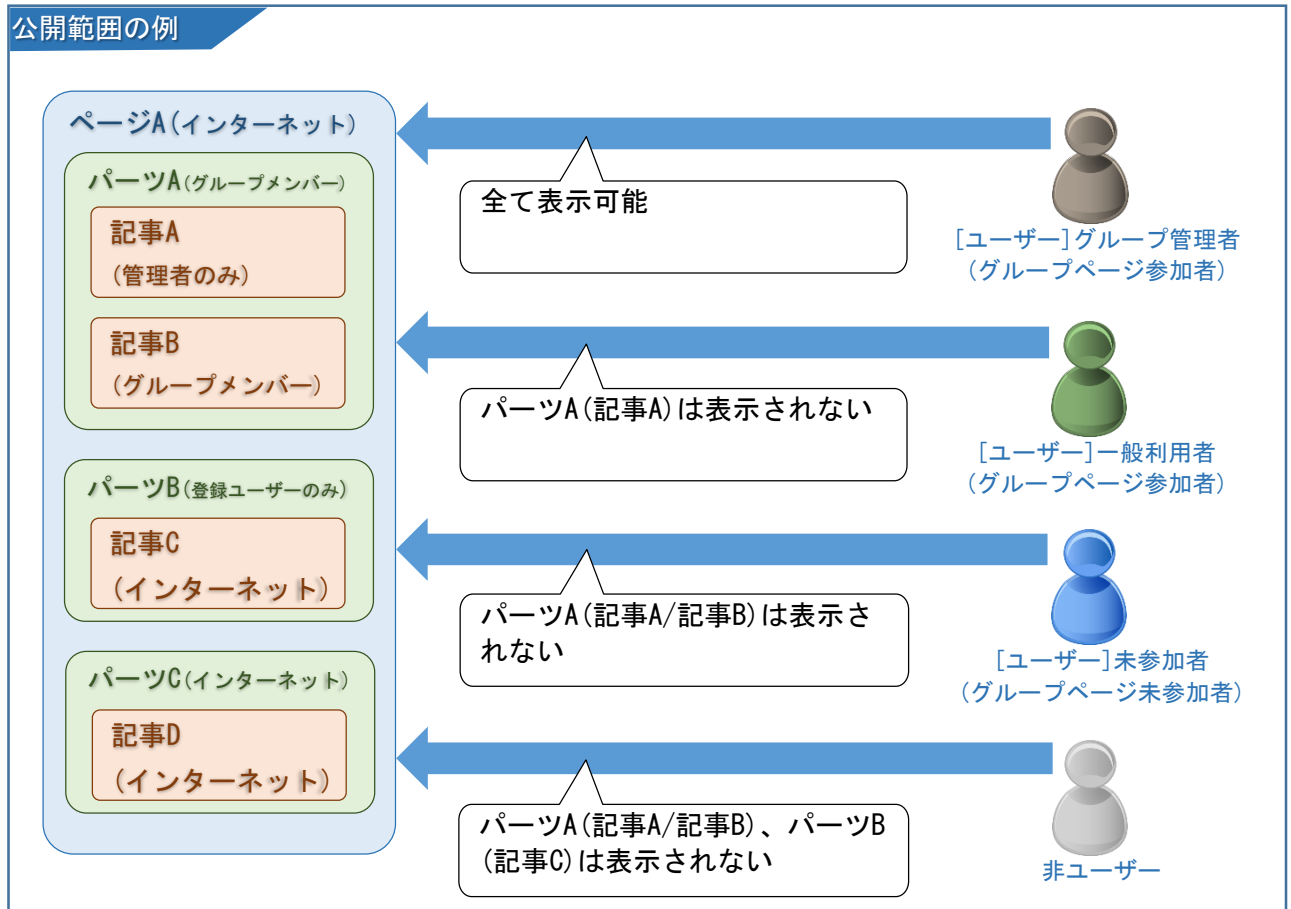
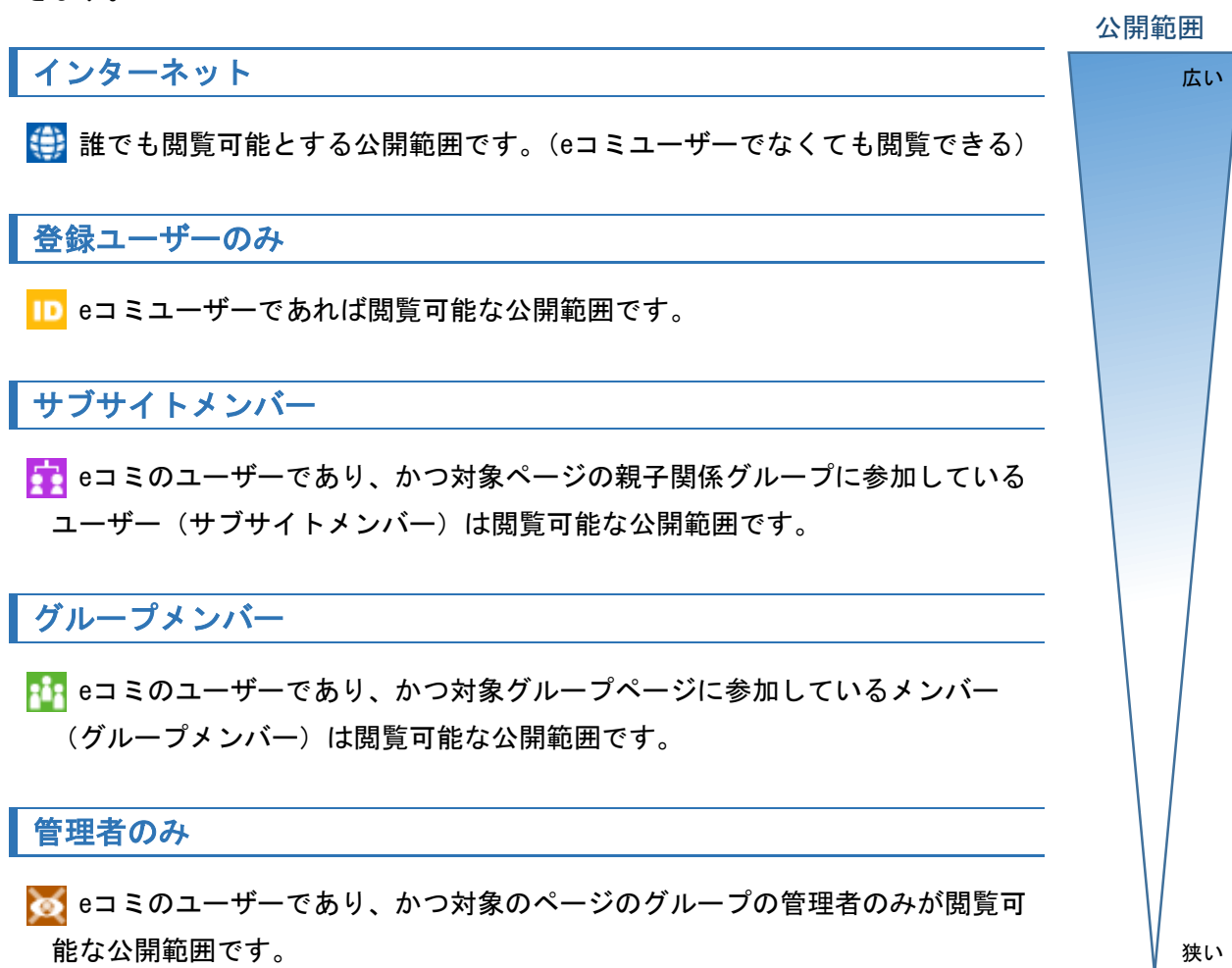


図-3

公開範囲の設定値

公開範囲は、「サイト権限」と「グループ権限」を組み合わせ、以下の5段階で設定することができます。

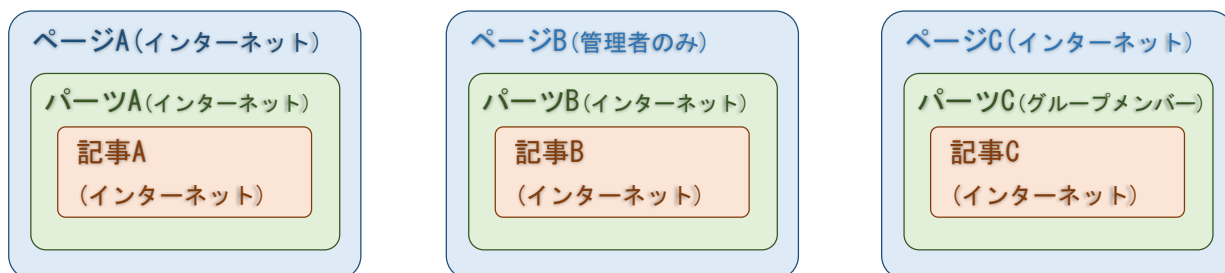


公開範囲の設定できる場所(単位)と場所の包含関係について

公開範囲は1. グループページ自体、2. パーツ、3. 記事/イベント (blog/イベントカレンダー) に設定します。これらは包含関係にありますので、仮に記事やパーツが誰にでも見える設定であっても、設置しているグループページ自体で制限を掛けている場合、グループページの公開範囲に制限されます。これを「公開範囲の包含関係」といいます。

※【注意】次項のファイル倉庫内のファイルの例外についても参照

公開範囲の包含関係の例



上記例の場合、ページA(記事A)は、誰でも閲覧が可能になります。
ページB(記事B)の場合は、公開範囲がインターネットですが、ページの公開範囲が管理者のみなので、管理者以外は閲覧できません。
ページC(記事C)は、公開範囲がインターネットですが、パーツCの公開範囲がグループメンバーなので記事Cは、グループメンバー以外は閲覧できません。

公開範囲の包含の例外について(重要)

公開範囲はファイル倉庫内のファイル一つ一つにも同様に設定が可能です。ただし、ファイル倉庫内のファイルは「包含の例外」になりますので、ファイル個々に設定した公開範囲で即設定されます。

公開を制限しているブログ記事に、インターネット公開で設定した画像ファイル(ファイル倉庫内に配置)を貼り付けると、記事自体は閲覧できませんが、画像のURLに直接アクセスすると画像だけは閲覧できてしまいます。ご注意ください。

サイト/システム管理者(公開範囲権限の例外)

通常は上記5段階で公開範囲を制限しますが、システム管理者/サイト管理者は例外的に全グループの全情報にアクセスできます。これはサイト全体を管理するスーパー管理者であるためです。